

## 令和4年度 IBARAKI ドリーム・パス事業 第4回プレゼンテーション大会「IBARAKI ドリーム★パス AWARD」 総合グランプリは 県立石下紫峰高等学校

2月18日（土）に第4回プレゼンテーション大会「IBARAKI ドリーム★パス AWARD」を茨城県県南生涯学習センターで開催しました。

10月に認定された16の戦略チームが、およそ4か月間にわたる実践活動の成果を発表し、審査の結果、県立石下紫峰高等学校の For a good community チームが総合グランプリを受賞しました。自分たちが幼少期にコミュニケーションに苦労した経験から課題を見つけ、多くの仲間の協力を得ながら作り上げた多言語テキストが、実際に保育の現場で園児と先生のコミュニケーションをサポートするツールとして活用されていることが高く評価されました。

審査員からは、「高校生や中学生が、自分自身の身近なところから課題を見つけ、解決しようと挑戦した姿がどれも素晴らしかった。」「年々活動内容のレベルが上がり、素晴らしい発表になっている。」など取組を高く評価するコメントを数多くいただきました。

ぜひ、貴紙誌面・局にて中高生たちの活動を御紹介ください。

### [結果]

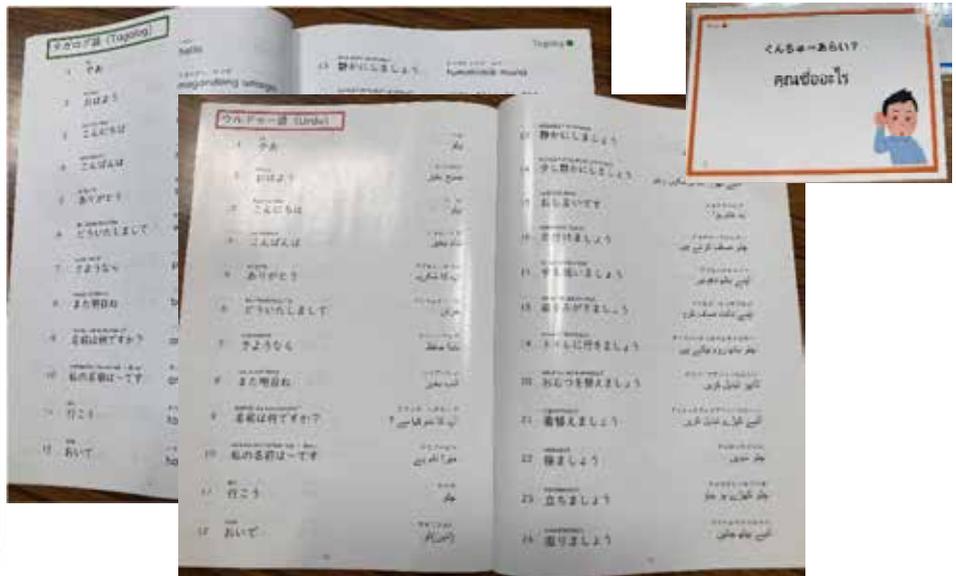
成績/副賞	企画名	学校名/氏名
総合 グランプリ (50万)	International Language for 幼稚園児	県立石下紫峰高等学校 2年 ポンポン ニコル、パリソ イサベル、シマブクロ カリネ、ディアス ナタリ
	受賞者のコメント：この経験を活かして、これからも外国籍の子どもたちや、幼稚園の先生方の支援を続けたいと思っています。	
金 賞 (30万)	霞ヶ浦で泳ぎたい！ ～水中探査で豊かな未来を～	県立つくば工科高等学校 2年 坂 卓実、大谷 綾、佐藤 リアン、田中 大稀、中村 虎太郎、平田 直翔、古家 眞之介
	バナナバイオエタノール ～環境保全と経済活性化の両立を目指して～	県立竹園高等学校 2年 石井 優夏
銀 賞 (20万)	「～THE SAW～畑の道を切り開け！」 農業をロボットでサポートしたい！除草ロボットの研究	県立つくば工科高等学校 3年 秋森 一真、田中 月輝斗、田中 月埜、山田 航世
	いらんなんて言わせない ～コーヒーかすの可能性～	県立勝田高等学校 2年 勝山 葉音、平野 百依 県立勝田中等教育学校 2年 高橋 宏典、1年 早川 そら
銅 賞 (10万)	看護師に救いの手を ～あなたのとなりにバイタルサイン～	県立つくば工科高等学校 3年 高野 鞠凜、久保田 侑良、澤上 利彦、関 優斗
	移動可能な緑地を作る	県立緑岡高等学校 2年 平沼 悠輝、那須 雄飛、清原 慧梧、小森 悠太、中村 香菜
審査員 特別賞 (3万)	北浦の在来種を増やすには ～水路にRiverBoxを設置して在来種を増やそう～	県立鉾田第一高等学校附属中学校 2年 眞家 大和、井川 晃佑



上  
総合グランプリを受賞した石下紫峰高校の生徒のみなさん

中央  
作成したテキストブックとカード  
保育の現場で使いやすいフレーズを選定し、9か国語に翻訳している

下  
プレゼンテーション大会を終えて



**1** 北浦の在来種を増やすには  
～水路にRiverBoxを設置して在来種を増やそう～

茨城県立鉾田第一高等学校附属中学校

【代表者】眞家 大和  
井川 晃佑



北浦水域の水路に小型漁礁 (RiverBox) を設置することで、在来魚と外来魚が共存できる環境にする。生物多様性を守り、経済的効果のあるブラックバスなどの外来種を駆除しないことで、観光客減少を食い止める。

**2** 私たちのつくる未来のカタチ  
～農業の未来を変える「儲かる農業」を目指して会社設立～

茨城県立水戸農業高等学校

【代表者】玉野 笑子  
板橋 仁美、株本 良輔、宮本 泉希、松本 紗葵



誰かの役にたつ「儲かる農業」を目指して農業高校生が会社を設立する。会社では自分たちが生産したものを販売し、経営を学んで、地域の産業に貢献し、農業のイメージを変える。

**9** 避難所における外国人住民へ  
私たちができる最善の支援方法とは??

茨城県立波崎柳川高等学校

【代表者】大西 すみれ  
笹本 陽菜、野口 愛珠

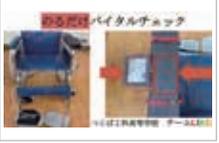


避難所での生活において、外国人住民のみならず避難者が適切な支援をスムーズに受けられるようなビクトグラムカードなどを制作する。すべての住民の方々が安心した避難所生活を送れるようにしたい。

**10** 看護師に救いの手を  
～あなたとなりにバイタルサイン～

茨城県立つくば工科高等学校

【代表者】高野 鞠凛  
久保田 侑良、澤上 利彦、関 優斗



バイタルサイン測定器を開発し、車いすに取り付け、車いすに座っているだけでバイタルチェックができるようにし、異常事態のときには介護者にすぐに知らせる機能を搭載する。患者と看護師の両者共に負担を軽減する。

**3** 『～THE SAW～ 畑の道を切り開け!』  
農業をロボットでサポートしたい! 除草ロボットの研究

茨城県立つくば工科高等学校

【代表者】秋森 一真  
田中 輝斗、田中 月瑩、山田 航世



自律型雑草除去ロボット研究と実機モデル製作を通して、農業大県茨城におけるスマート農業の可能性を探る。農作業の負担や人件費を削減することにより、人とロボットが共生し、人々が安心して就業できる社会実現を目指す。

**4** 色覚多様性のある方にも  
区別しやすいランプの開発、研究

茨城県立海洋高等学校

【代表者】内藤 友弘  
谷田 部 太一、藤川 雅人

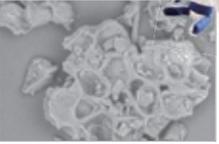


色覚多様性があり緑や赤を識別できないと船舶の免状が取れない。これに違和感を覚えて技術によって解決することを考えた。色覚多様性に配慮した区別しやすいランプを開発することで、誰もがなりたい職業に就ける世界を目指す。

**11** いらないなんて言わせない  
～コーヒーかすの可能性～

茨城県立勝田高等学校・勝田中等教育学校

【代表者】勝山 葉音  
平野 百依、高橋 宏典、早川 そら



コーヒーかすの廃棄には、会社全体で膨大な金額がかかる。コーヒーかすがアンモニアを吸着する点に着目し安全な脱臭剤の開発をする。これを通し、誰もが当たり前に産業廃棄物を新たな資源として考えることが当たり前の社会を作る。

**12** 霞ヶ浦で泳ぎたい!  
～水中探査で豊かな未来を～

茨城県立つくば工科高等学校

【代表者】坂 卓実  
大谷 綾、佐藤 リアン、田中大稀、中村 虎太郎、平田 直翔、古家 真之介



霞ヶ浦にかつて存在した湖水浴場の復活を目指し、水質改善に向けた広報を目的に活動する。水中を移動・撮影できるロボットを開発して、水中映像を発信することで環境教育や生活排水による汚染削減のための啓発活動を行う。

**5** ENGLISH SURVIVAL CAMP  
～英語で話さないと生きていけないキャンプ!?～

茨城県立水海道第一高等学校

【代表者】和泉 樹雄  
田中 玲菜、染谷 大翔、松田 莉音、上田 莉子、加藤 慶大、小橋 悠人、葛 侃志



コミュニケーションツールになる英語の仕掛けを考案し、楽しく学べる学習プログラムを開発する。中学生対象のイベント運営で、高校生のスキルもアップ! 3回の企画運営で得た知識を活かし、最終的には英語キャンプ実施を目標とする。

**6** 移動可能な緑地を作る

茨城県立緑岡高等学校

【代表者】平沼 悠輝  
那須 雄飛、清原 慧梧、小森 悠太、中村 香菜



リサイクルガラス発泡資材と廃ポリエステル繊維チップから製造した軽量化土壌を移動可能なサイズでバックングし、その中で植物を育てる「移動可能な緑地」を開発する。食料自給率向上やリサイクル率向上を目指す。

**13** バナナバイオエタノール  
～環境保全と経済活性化の両立を目指して～

茨城県立竹園高等学校

石井 優夏



バナナの茎(偽茎)を主原料としてバイオエタノールを製造する。環境負荷の軽減やバナナ農家の生活の安定化に加え、バナナバイオエタノール製造に関わる新しい産業を作り出す。そして、現地の経済が活性化されることを目指す。

**14** International Language  
for 幼稚園児

茨城県立石下紫峰高等学校

【代表者】ハビエル アビュ  
ボンボン ニコル、バリソ イサベル、シマツクロ カリネ、ディアス ナタリ



日本語をほとんど話せない子どもが幼稚園での生活に早く慣れるよう、園児や先生のコミュニケーションを支援する。多文化共生社会の実現に向け、外国人の子どもが日本語を習得しやすくなる環境づくりに役立ちたい。

**7** どこでもかご  
～地域を救うWOODなボックス～

茨城県立大子清流高等学校

【代表者】白井 優百  
豊田 楓来、木澤 和紀、久野 天寧



大子町の主要産業である林業を活かし、大子産木材でできた「どこでもかご」を大子町内で製造、販売をすることによって、大子町の雇用状況の改善及び経済の活性化を目指す。

**8** ソーラーパネルメンテナンスロボット  
～宇宙大航海時代を目指して～

茨城県立つくば工科高等学校

【代表者】甲斐 龍之介  
圓城 寺 隼人、押木 秀穂、栗原 佑飛、関 空翔、産坂 智貴



ソーラーパネルを自動でメンテナンスするロボットを開発する。大きさや形状の異なるソーラーパネルに対応可能なシステムとし、メンテナンスに係るコストを削減し、再生可能エネルギーを安定供給できる未来を目指す。

**15** 「IBARAKI 投資カフェ」  
～茨城から最先端の金融教育と美味しさの発信～

茨城県立常陸大宮高等学校

【代表者】杉山 美歩  
廣木 蓮斗



金融を学び、茨城の食を楽しむ6次化ダイニングをつくることを最終目標とし、今回の事業では、金融教育の需要の把握に取り組んだ。金融教育を身近に感じてもらえる環境を提供し、大切さに気づいてもらいたい。

**16** 垂直軸型風車の発電を改良する  
～日本の風に最適な風車のカタチとは～

茨城県立竹園高等学校

【代表者】鶴淵 隆之介  
奥山 大樹



今回着目したサボニス型風車は小さい風で発電できる一方、発電量が少ないというデメリットがある。今回の実験では、風速ごとに最適なギア比が異なることが明らかとなり、地球温暖化抑制につながる新たなエネルギーの活用には有意義な知見が得られた。